

凛として 清らかに

北島さんの結婚式

KITAJIMA
WEDDING



出雲大社北島國造館
出雲教結婚式場

こ つ い つ
こ な の ち
ら ぐ ち ぐ

出雲大社の東隣に、
ご縁結びの大神（大国主大神）様の祭祀として、
お祭の道を通じて信仰を捧げ、その御神徳を広く世に
広め続ける出雲大社北島國造館があります。

地元の人たちからは「北島さん」と呼ばれ、古きよき
「日本の美しい和の心」を伝える結婚式や人生儀礼を
厳かに執り行う掛け替えのない場として、昔から親
しまれ、地元はもとより全国各地からも多くの方が
訪れています。

人生儀礼

感謝するから
幸せに





つばぐ
いのち
つなぐ
こころ。

わたしの

いのちの糸



あなたの

いのちの糸



いのちの奇跡



幼い頃は、好きな人ができたら結婚する
というくらいにしか考えていなかった。
でも、今は違う。

私といういのち。
あなたといういのち。
そのいのちの先にある、たくさんのいのち。
私が「今ここにいる」ということは
いのちが受け継がれてきた、その証し。
私のいのちも、あなたのいのちも
「奇跡」だということを知った。





つなぐ
いのち
つなぐ
つなぐ
つなぐ

凛として 清らかに

心から襟を正し
清らかな心で神前に立つ

今ここにある「いのちの奇跡」と「縁の糸の奇跡」のつながりに
感謝の想いを深め気持ちの襟を正します。



母の手をかりて花嫁に



両親へ門出の挨拶

嫁ぐ日の朝

両親に、たくさんの
ありがとうを伝えます。
家族と近所の人たちに祝福されて
思い出さばいの我が家を
笑顔になってあとにします。
そして
子どもの頃に両親に連れられて
お宮参りをしたこの場所
両親が誓いあった
北島さんで
今日わたしは花嫁になります。





つばぐ
いのち
つなぐ
こころ。



神様に 誓いを立てる こと

これからは
ひとりじゃなくふたりで
力強く歩いていきますと決意を示すこと。
あたたかい家庭を作りますと約束すること。
神様に、どうかどうかこれからも
見守ってくださいと祈ること。
それが、
結婚するということなんだろうと思うのです。

結婚する ということ

恋愛のゴールでも、
ふたりだけのことでもありません。
それは、今までつなげてきた
いのちを意識すること。
私を大切に育ててくれた家族のあたたかさを
かみしめること。
友だちや先生のありがたさに感謝すること。



出雲大社北島國造館 出雲教

出雲教は、天徳日命の子孫出雲國造北島家に伝わる
祭祀の道に従い、出雲大神の御神徳を広く世に拡め
ることを主たる目的とする神道教団です。
出雲教は、幽事をつかさどられる大国主大神様にお
仕えしお祀りするという出雲大社創建の精神を基と
して、出雲大社の神社と御神徳をお護りしています。





つばぐ
いのち
つなぐ
こころ

出逢うべくして
出逢わされた奇跡

ふたつの「いのちの糸」が
「縁」の力に引き寄せられ
ひとつになること。

数えきれない人との出会いの中で
たったひとりのあなたを見つけ出し、
好きになったこと。
出逢うことのないふたりだったら…
言葉をお交すことも無くすれ違っていたはず。

ふたりが恋をして、心の痛みも喜びもともにして
家族になりたいと 想い合えたこと。

遅くもなく、早くもない、
今というタイミングで、
ふたりが覚悟できたこと。
決して偶然ではないと思うのです。

出逢うべくして、出逢わされた
この巡り合わせの奇跡

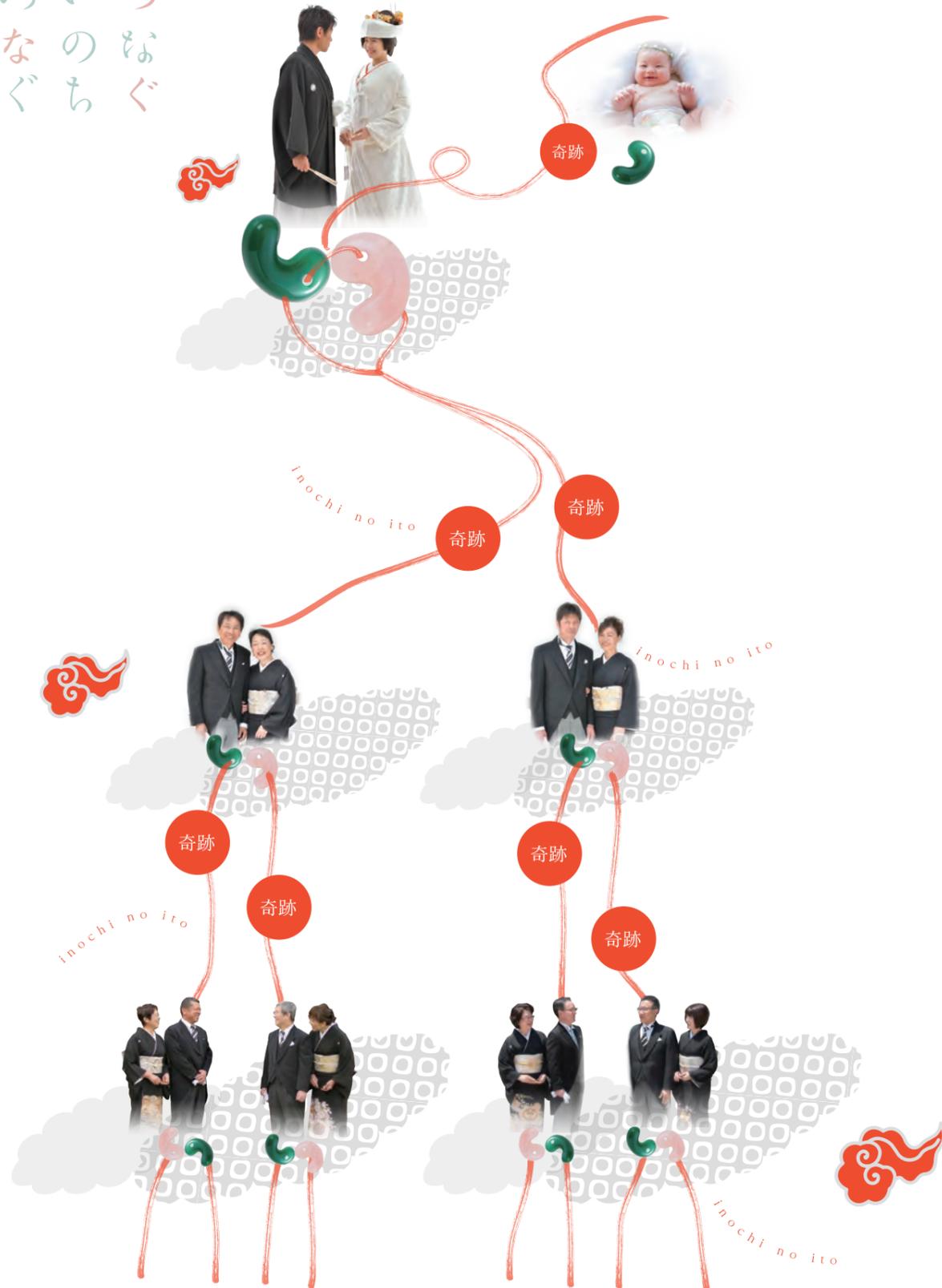
絶えることなく
受け継がれてきたいのちの奇跡を
受け入れ、認め、感謝することで
互いの「いのちの糸」が、しっかりと結ばれる。
それを
「えにしの糸」が結ばれると思うのだと思うのです。

えにしの
糸が
結ばれる



Inochi no Ito

つなぐ
いのち
のち
つなぐ
つなぐ
つなぐ
つなぐ



いのちの 奇跡

何千年の間、すべてのご先祖様が命懸けでつなげてきた「いのちの糸」。
これまでに、一本でも途切れていたら… 今の幸せ、今のあなたも存在していません。
ご先祖様たちは、人生に立ちはだかったであろう… ささまざまな苦難困難を頑張って乗り越え、
いのちのバトンを未来につないできたという奇跡の事実が存在しています。
その事実を受け入れ、認め、感謝することで、これから愛の結びをするお二人の「いのちの糸」
がしっかりと結び固まり、つながっていきます。

凛として
清らかに



KITAJIMA
WEDDING



御神殿

初穂料 50,000円

最大50名まで参列ができます。神前に立ち感謝の祈りとともに、ふたりの幸福と家庭の安泰、子孫繁栄を願う「誓盃の儀」。ふたりの永遠の愛を固める「誓詞奉読」などの由緒ある儀式をとおして、ふたりは夫婦となります。

神前結婚式

出雲教の

凜として 清らかに

出雲教の「神前結婚式」は、いつもすぐそばに神を感じ、八百万（ヤオヨロズ）の自然を敬う先祖から受け継がれてきた、日本人の美しい和のこころのカタチを今に残す。

ご縁結びの大国主大神さまの御神慮により、出逢わせていただいたお二人が、清らかな心を得て神前に立ち、いただいたご縁の奇跡に感謝の祈りを捧げ、「永久の命」のつながりと「ふたりの縁の糸」を固く結ぶ人生最良のときを祝う結婚式です。



【御神殿内】

次第

- 一、参進
- 一、修祓
- 一、祝詞奏上
- 一、誓盃の儀
- 一、指輪の儀
- 一、誓詞奉読
- 一、玉串拝礼
- 一、両家代表玉串拝礼
- 一、祝辞





庭園
初穂料 80,000円

最大50名まで参列ができます。四季折々の美しい景色のなかで、参列した親族とともに一般の参拝者のみなさまからも新たな門出を祝福していただけます。※庭園挙式は平日に限りお受け致します。土日ご希望の場合はご相談下さい。

庭園結婚式

出雲教の

凛として 清らかに

どんなに時代が移り変わろうとも
ここには変わる事のない穏やかなときの流れがあります。

亀山の深き自然に抱かれる美しい庭園で、
大国主大神さまの息吹を近くに感じながら
ふたりの永久の愛を誓う結婚式。

やすらかな杜の光に包まれながら静寂の中に、
挙式は厳粛に進められます。



【庭園式場】 次第

- 一、参進
- 一、修祓
- 一、祝詞奏上
- 一、継承の儀
- 一、誓盃の儀
- 一、指輪の儀
- 一、誓詞奉読
- 一、玉串拝礼
- 一、両家代表玉串拝礼
- 一、祝辞





結びのお力をいただくために 神前結婚式の意義を知る

儀式は「**ふたりが幸せになるための大切な祈り**」が込められています。

祈りの意味を知り、心の襟元を正して、ご結婚の日をお迎えいただくことで、挙式での感動、神前で誓いを立てるときのふたりの覚悟。家族、親族、友人から祝福される披露宴で感じる喜びは、ふたりの思いと予測を超えるものとなるはずです。

参進

参進の儀では、神域にある神殿に参るために、心を落ち着け、気持ちを厳肅に整えるための儀式です。また新郎と新婦の「過去」「現在」「未来」のつながりを三位一体の姿として表したものです。



過去

これまで支え育ててくれた親族、友人を「過去」の象徴として

現在

「現在」をつなぐ新郎新婦の姿として

未来

ふたりの将来の安泰を祈願する神殿、神職を「未来」の象徴として



修祓

心身を清めるためのお祓いの儀式。命の穢れが払われ、命が蘇り輝きを得ます。



祝詞奏上

斎主が祝詞を奏上し、二人の末永い幸せをお祈りします。

誓盃の儀

「三三九度」とも呼ばれ、新郎新婦が大・中・小、三つの盃で誓いの盃を交わす儀式それは、感謝・誓い・願いの儀式



3つの 祈りの盃

小盃

感謝

(過去)

命をつなげていただいた先祖への感謝



中盃

誓い

(現在)

夫婦の誓い(困難も一緒に乗り越えて、力強く歩いていきますと決意すること)



大盃

祈り

(未来)

子孫繁栄の願い(後世に命をつなげられますようお守りください)



指輪の儀

新郎新婦がお互いの気持ちを込めて指輪を捧げ交換する儀式
※ご希望の方に指輪交換をしていただきます。



誓詞奉読

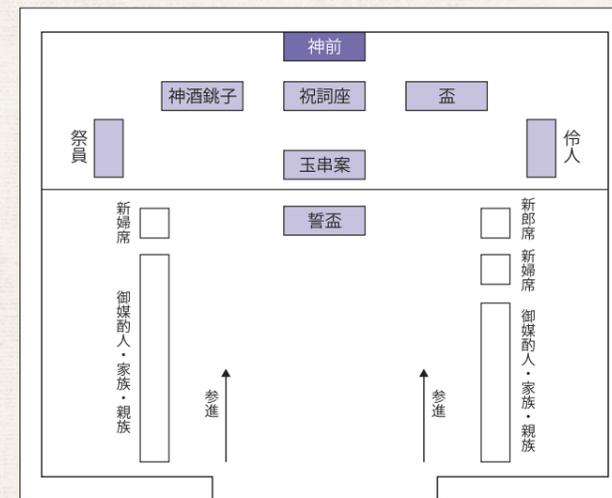
新郎新婦が神前に進み、夫婦になる誓いの言葉を奉読し、その覚悟を宣言する。



玉串拝礼

新郎新婦が神前に進み「ふたりを末永く見守ってください」という祈願を込めて神様に「玉串」を捧げる儀式
感謝と祈りをこめて玉串を奉り「二拝四拍手一拝」で拝礼します。

神前位次略図(結婚式場)



結婚を願うふたりに、伝えたい心。

結婚を願うふたりに、伝えたい心。

亀山会館



特別な日を
もてなすために

お二人の門出を祝福するためにお集まり
いただいたゲストに、感謝とおもてなしの
心を伝える特別な料理。
華やかで趣向を凝らした日本伝統の「和」
の料理は、ゲストの皆様を笑顔にしてくれ
ます。

披露宴

hirouen



<喜びの演出・鏡開き>
運を開き、栄える酒を分かち合う。
本格樽酒の鏡開きは喜びの場面を大
いに盛り立てます。

KAMEYAMA KAIKAN

ご縁が結ばれる記念日を 亀山会館で

和と洋のテイストが格調高くとけあう亀山会館の披露宴会場。
季節ごとに表情を変える美しい清らかな庭園を背景に
両家の喜びの想いが溢れるアットホームな披露宴からご会食まで
お二人らしいスタイルを大切にしたい特別な一日をご提案いたします。

佳き日を祝福する 色とりどりの花

会場を飾る色とりどりの花々は、
四季折々の装いで皆さまをお迎えします。
お二人のお好きな彩りをテーブルクロスと
合わせてコーディネートできます。



Kameyama

北島國造家



書院の間

特別席



人生の節目を

かけがえのない家族との時間に

神とつながる挙式から人とつながるご会食へ
御神殿での荘厳な挙式の後に、
特別な空間でおふたりの感謝の想いをカタチにいたします。
大切な人たちと笑顔になれる和やかな時間をお過ごしください。



書院の間から眺めるお庭

出雲大社 寛文の御造営に際し、出雲大社後方にあった
北島家邸宅は現在の地に移築されました。
この庭は、その旧屋敷の中央に位置した中庭の名残であり、
井戸の水は神事や禊に使われたと伝えられています。

祝宴

結納式

顔合わせ会食

紐落し

長寿祝

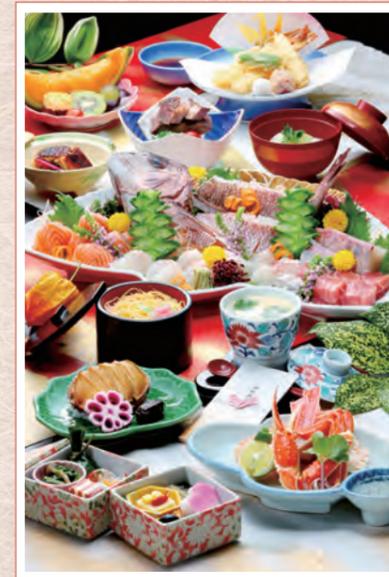




日本の伝統的な花嫁衣装の白無垢から艶やかな色打掛け、純白のウェディングドレス、華やかなカクテルドレスもご用意しております。一生に一度の晴れの日を飾る運命の一着をアドバイスいたします。

婚礼料理

ご縁があって巡り逢った皆様が、同じテーブルに笑顔を並べ、より深いご縁で結ばれることを喜び願う披露宴。そんな晴れの日にふさわしい祝膳には、お客様に喜んでいただける厳選素材を使った本格婚礼料理をご用意させていただきます。



特製

ウェディング ケーキ/和菓子

ウェディングケーキの入刀や和婚ならではの特製寿和菓子の入刀は、記念に残る特別なワンシーンを演出する人気のアイテムです。

祝ちらし 寿司



美容



経験豊かなスタッフが新婦さまの個性にあわせたヘアメイクを行います。伝統とモダンが織りなすアレンジは、多くの方に喜ばれております。

写真



おふたりの素敵な思い出づくりのお手伝い。前撮りから結婚式、披露宴風景まで記念に残るお二人の感動シーン、家族との絆に触れる瞬間を撮影いたします。

フラワー アレンジ



新婦さまのブーケ、テーブルを華やかに演出するフラワーコーディネート、和のアレンジからモダンまでご提案いたします。

アイテム



招待状や席次表など、素材やデザインにこだわったペーパーアイテムもご用意しております。お二人らしさを表現しゲストへの素敵なおもてなしにしてください。

「出雲教専属店一覧」

婚礼衣装

花嫁センター草谷
TEL.(0853) 21-4648

婚礼料理

ゆたか亭
TEL.(0853) 53-2208

看雲楼
TEL.(0853)53-2017

記念写真・スナップ写真

独立軒写真場
TEL.(0853) 53-2119

東伯館写真場
TEL.(0853) 53-2122

八重垣写真館
TEL.(0853) 53-2265

装花・フラワーアレンジ

かつべ生花店
TEL.(0853) 22-8079

引出物・記念品

大社木工製作所
TEL.(0853) 53-2247

ギフトながさこ
TEL.(0853) 53-1980

ギフト スミカワ
TEL.(0853) 21-3232

折詰・おみやげ

油屋かまぼこ店
TEL.(0853) 53-2324

どんなに時代が変わっても
変わらないこと

いつも
おふたりを
大国主大神さまは
見守って
おられます



お申込みから結婚式まで

<挙式のみの場合>

□ 挙式のご予約
ご希望日時をご予約ください

約1年前～

□ お申込書のご提出
□ 衣裳・写真のお申込み
直接各店へお申込みください。

3ヶ月前

1ヶ月前

2週間前

前日

当日

□ 挙式
挙式30分前までに到着ください。

<亀山会館ご利用の場合>

□ 挙式のご予約
ご希望日時をご予約ください

□ お申込書のご提出
□ 衣裳・写真のお申込み
直接各店へお申込みください。
□ 案内状の作成

□ 披露宴内容のご決定
披露宴に関する内容全般の
お打ち合わせ

□ 司会者との打ち合わせ
披露宴の進行内容のご決定

□ 各種アイテムのお持込み
ウェルカムボードや席札等アイテムの
持込・最終準備

□ 挙式
挙式30分前までに到着ください。



出雲大社北島國造館
出雲教結婚式場

〒699-0701 島根県出雲市大社杵築東194 (出雲大社境内の東隣り)
ご予約・お問合せ ▶ **TEL (0853) 31-5155**

受付：9：00～16：00

車

国道431号線を出雲大社方面に向かい、島根県立古代出雲歴史博物館の西側道路(通称「亀山通り」)を北に向かい、突き当たりにございます。

公共交通機関

- ・一畑電車出雲大社前駅より徒歩<15分>
- ・山陰道出雲ICより車で<20分>
- ・JR出雲市駅よりタクシーで<20～25分>
- ・出雲空港よりタクシーで<40～50分>

最新情報
こちらから



hp



Instagram